

1年生の教材(総合教育センターの教材)

【演習4】右のイラストは、ABCDEの5人でグループチャットをしている様子です。ある日、こんなトラブルが発生しました。

Aさん…テストで満点をとったAさんは、「テスト満点」と書き込みました。
 Bさん…Aさんの書き込みを見て、「Aうざい!」と書き込みました。
 Cさん…「オレもそう思う」とBさんに同調する書き込みをしました。
 Dさん…「外しちゃう?」と、グループチャットからAさんを仲間外れにする提案を書き込みました。

さて、あなたはEさんです。このトラブルを解決するためにどうしますか?まず、あなたひとりでご考えてみましょう。その後、となりの友人に相談してみましょう。

生徒の感想

- 仲の良い友だちに書かれたら、ショックで人のことを信じられなくなる。だから絶対同調はしない。
- 文字だけでは伝わらないこともあるし伝わりにくい。自分が思っていることを、自分の言葉で伝えた方がよい。
- その場のノリで、そこにいない相手を傷つけてしまうことがないように自分の考えで行動したい。

よくないことだと分かっているけど、その思いをSNS内で表現することの難しさを学び、どのように行動することがよいか一生懸命考えました。

「どう答えるべき?」ネットでのコミュニケーション(保護者編)



PTA講演会では、上田千曲高校伊藤卓也教諭のお話を聞き、インターネット利用について学びました。まずは、生徒と同じ授業課題を体験し、一方向型のコミュニケーションの難しさや、子どもたちが日々直面している悩みを実感することができました。

後半では、「常中ルール」を家庭内でどのように活用しているか、グループで話し合いました。常中ルールには、家庭ではなかなか決めにくい時間的な約束、相手を思いやる気持ちや自分の守り方など、重要なことが多く記述されていることを再確認しました。その上で、各家庭での「常中ルール」のよい活用法や、子どもと一緒にどのようにルールづくりを推進していくか検討しました。

保護者の感想

- 当たり障りのない文面で会話する大人と違い、子どもはストレートに言ったり、友だちの言葉に簡単に同調したりするので、思いもよらないことに発展していく怖さを感じた。
- 子どもとどう向き合うか、押しつけでなく一緒に考えたい。
- 子どもを守るべき所はしっかりと守りたい。そのためにも常中ルールは重要であると思う。
- 親子だけでなくみんなでルールを守っていく雰囲気を作っていきたい。
- 常中ルールを子どもとともに繰り返し確認し、家庭でのルールづくりに役立てたい。
- 今一度、子どもと一緒に今日の資料と常中ルールを読み、一緒に家庭のルールを考えたい。

常盤中学校のように、学校が保護者と連携した取組をすることがとても重要です。この取組を参考にし、各学校の状況に合わせて、学校、家庭が協力して、生徒による主体的な取組を支援していくことが重要だと思います。

※「ユビキタス@nagano」のバックナンバーや指導資料などをダウンロードできます。
 長野県教育委員会HP > 生徒指導
 URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/index.html>

生徒指導総合連絡会議事務局 担当：長野県教育委員会事務局 心の支援課 生徒指導係
 Tel 026-235-7436 (直通) Fax 026-235-7484 E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp